

備前市 事務事業評価表

事務事業名	人事事務事業		コード	06-01-18-05
			担当課・係	学校教育課
			担当者	三村 実
			電話	64-1840
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効果的な行政運営		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について				
目的 (何のために)	教職員の人事異動、講師や非常勤講師等を配置することを通して、学校教育の質的向上及び学校組織の活性化を図る。			
対象 (誰・何を対象に)	市内各幼稚園、小・中学校、高等学校の教職員			
内容	教職員の人事異動、講師、非常勤講師の採用等に関わる人事事務			

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数	単位	回数	単位
人事異動事務対象件数	133	件	168	件
都市間人事交流数(教諭)	26	件	22	件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等	0	直接事業費	0	国庫補助金等	0
	人件費	6,345	受益者負担		人件費	10,660	受益者負担	
	合計	6,345	市債		合計	10,660	市債	

必要人員	0.65	人	1.00	人
結果指標名	人事異動事務対象件数		人事異動事務対象件数	
結果指標量	133		168	
単位	件		件	
対前年比	-		126.32%	0.00%
活動にかかるコスト	4,442,000	円	10,660,000	円
単位当たりコスト	33,398	円	63,452	円
結果指標名	都市間人事交流数(教諭)		都市間人事交流数(教諭)	
結果指標量	26		22	
単位	件		件	
対前年比	-		84.62%	0.00%
活動にかかるコスト	1,903,000	円	7,462,000	円
単位当たりコスト	73,192	円	339,181	円

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	活発な人事交流を行うことにより、学校組織の活性化と質的向上を図る。			
成果指標名	市外との人事交流数(教諭)	式又は説明	市外への転出数+市内への転入数	
	17年度	18年度		
成果指標量	26	22		
対前年比	-	84.62%	0.00%	
到達目標値	30	到達目標年度	平成20年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	学校教育の質的向上を図るために必要不可欠な事業であり、目的や対象、内容は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事業費のすべてが人件費であり、その業務量のウエイトも年々高くなっている。事務の効率化を図り、人件費の削減に向けた努力が必要である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	適材を適所に配置することで、学校の適正な運営や活性化につながっていると考え。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 150	結果指標量 30
	結果指標量	30

総合評価	必要不可欠な事業であり、事業を進めるために必要な人員の数値もトータルで1人となっている。それだけ、学校教育課として力を入れている事業であり、学校現場の質的向上や活性化に目を向けた取組を行っていると言える。	評価区分 <A~E> B
------	--	--

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事務の簡素化・効率化に努める。	平成20年度	人件費の節約と単位コストの削減